

### 住職随想

出版社四季社から法話の原稿依頼がありました。監修は寺川俊昭先生、友久久雄先生です。原稿法話の内容は、真宗不遇死葬儀法要法話実践講座用というものでした。

「刊行の趣旨は、突然身近な人を失う、どれほど耐え難く辛いことが想像を絶するものがあります。各ご住職方には、突然亡くなられた方の葬儀法要の時に遺族に対して、どのような態度で接し、どう言葉をかけてあげるのがよいか、あるいはどのような法話をするのが残されたご家族の心の支えになっていくのか、悩まれたことがあるうかと存じます。(略)さまざま具体的な事例を挙げ、教典・聖典に取材した真宗のことばによる法話を収録し、その勤めを果たされるご住職方の一助として提供するものです。

謹白

今まで、三寶寺の葬儀をご縁として、人がどう仏縁に入っていくかを

みさせてもらってきました。その中のものが一つでも二つでも全国の寺院のご住職のご法話のご参考になっていただければと思いました。

三寶寺にご来寺の方々は、それぞれ仏縁の有り難さの体験を話されていきます。

一番心に残っている方は定例法話の中で「三寶寺に来れました。これまで6カ月かかりました」と、話してくれました。

その間の心の動きは、  
「1、2カ月は家の中に閉じこもりがちでした。  
3カ月後は私は見られているけれど、その後、見守られているに変わっていききました。

今、皆さんと法話に参加させていただき、お寺の行事に参加させていただくことが今年の抱負です」と。

行事に参加すると、他の人への奉仕によって、役立つ喜びが生まれ、また法を聞かせていただいたことを人に伝えることで、私だけの「なぜ」の思いが消えるのです。どうぞ、行事にご参加ください。定例法話会は、それぞれの人の持っている抱負を語

定例法話会・おたのしみ寄席  
毎月第二土曜日です。どなた様もどうぞ！



る場でもあるのです。語れば皆様が聞いていてくださいます。人は語る、また、看板を出すということが大切なのです。そうすればそこに人が集まり、どうしたら良い結果が出てくるかという智慧が生まれるのです。

6カ月かかって、三寶寺にご来寺できたのは、自宅からお寺への場に足を向かわせる法との出会いがあり、法話を皆様と聞かせていただくことで、新しい感謝の自分が生まれることがわかったからでしょう。

新しい年になりました。どうぞ、一年の抱負を語ってください。  
三寶寺にもどうぞ皆様の抱負をお知らせください。願生新聞に掲載いたします。

合掌

### 住職御礼

本山住職就任認証を受け、皆様から数々の御祝いの御言葉をいただき、誠にありがとうございます。それぞれの御懇志を大切にいたく思いまして、サンスクリット学習会で必要であり、永年の希望でもあった、梵和大辞典を購入させていただきました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

### 住職1月の日程

- 1日(木) 修正会(午後2時)
- 10日(土) 定例法話会・お楽しみ寄席
- 18日(日) 埼玉三寶寺報恩講
- 23日(金) サンスクリット学習会

### 住職2月の予定

- 14日(土) 定例法話会・お楽しみ寄席
- 27日(金) サンスクリット学習会

### 住職3月の予定

- 13日(土) 定例法話会・お楽しみ寄席
- 17日(水) ~ 23日(水) 春の彼岸会
- 20日(土) 三寶寺合同春の彼岸会
- 26日(金) サンスクリット学習会